



2024 冬 号

No. 128

～ 特 集 ～

【河川の魅力と憩い】

- ・和歌山県
市堀川における“かわまちづくり”について
- ・福井県
足羽川のにぎわい創出について
- ・神戸市
生田川水系生田川の歴史と水辺空間の整備について

～ トピックス～

- ・滋賀県
家棟川ではじめての魚とり体験

～ きんきのダム巡り～

大阪府
安威川ダム

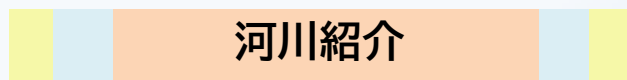
～ インフォメーション～

近畿地方整備局
「さらさ編集担当者現場勉強会」を開催！！

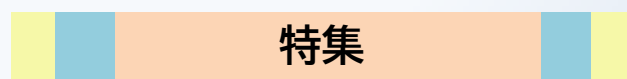


β 本町橋の水上こたつピクニック（東横堀川）

ページ



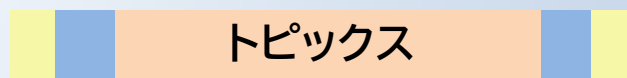
- 2 東横堀川 大阪市 河川課 (A)



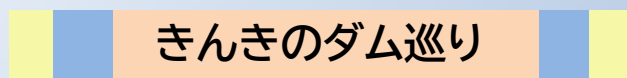
- 3 市堀川における“かわまちづくり”について (B)
和歌山県 県土整備部 河川下水道局 河川課

- 5 足羽川のにぎわい創出について (C)
福井県 土木部 河川課

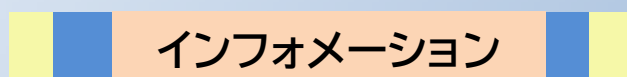
- 7 生田川水系生田川の歴史と (D)
水辺空間の整備について
神戸市 建設局 河川課



- 9 家棟川ではじめての魚とり体験 (E)
滋賀県 土木交通部 流域政策局



- 11 安威川ダム (茨木市) (F)
大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課



- 12 「さらさ編集担当者現場勉強会」を開催!!
近畿地方整備局 河川部 地域河川課



β 本町橋の水上こたつピクニック (東横堀川)

東横堀川 (ひがしよこぼりがわ)
 東横堀川は土佐堀川より分流し、大阪市中央区を北から南へと流れ、道頓堀川につながる一級河川です。
 東横堀川にかかる本町橋は大正二年に架けられ、現役の橋として大阪市内最古の橋として親しまれています。
 また、東横堀川の沿川地域の活性化と水都大阪の魅力向上を目的とした「本町橋BASE」にβ本町橋がオープンし、新たな賑わい拠点として注目を集めています。表紙の写真は冬に開催される水上こたつピクニックの様子です。



※図中 A ~ F は記事の位置を示しています。



東横堀川リバーテラス2024秋



ほんまちぼし のうにんぼし
本町橋～農人橋の護岸工事

河川空間のオープン化

東横堀川では地域ニーズの発掘や市民の方に水辺に親んでもらうために、定期的に社会実験を開催しています。また、護岸の耐震化と合わせて、拡幅される遊歩道の整備を実施し河川空間のオープン化を進めています。

いちほりがわ

市堀川における“かわまちづくり”について

和歌山県 県土整備部 河川下水道局 河川課

○ 市堀川について

市堀川は、和歌山市内を流れる紀の川水系（一級河川）の全21河川ある支川の一つで、法河川延長2.8km流域面積2.63km²の一級河川であり、近世初期に和歌山城の有事に備えた外堀の一つとして開削されました。市堀川北岸は納屋河岸と呼ばれ、紀の川や和歌川とつながり各種産物が頻繁に荷揚げされて賑わいの拠点になり、納屋河岸北側には富裕な商人が集まっていたとされています。



○ 「市堀川かわまちづくり」について

和歌山市では、第5次和歌山市長期総合計画（平成29年3月）において、10年後の将来都市像を「きらり輝く元気和歌山市」と定め、まちづくりに取り組んでいます。具体的には、都市再生整備計画を策定し、中心拠点区域において、和歌山城ホールや城前広場、京橋親水公園などの交流拠点を整備することにより、賑わい創出の兆しは見えつつあるもの

の、まちなか全体への波及や回遊性の向上が課題であり、「居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちなか」の実現に向けた取組を進めています。また、平成28年度から平成30年度には、市堀川の水辺を活用した社会実験やワークショップを実施するなど、市堀川周辺の活用に向けた取組を官民連携で進めてきました。

この取組を充実させるため、本計画では、市堀川沿いで人々が憩い水に親しむ空間の整備、市堀川を活用した回遊動線の整備、まちづくりと連携した新たな拠点整備、さらに、まちなかウォーカブル推進事業等とも連携することにより、中心市街地の賑わい向上を図ります。



- 市堀川かわまちづくり対象エリア
- 都市機能誘導区域 (中心拠点区域)
- 滞在快適性等向上区域 (ウォーカブル区域)
- 市が実施する関連事業

○ 『市堀川夜市』について

令和6年10月1日(火)より、市堀川沿いの京橋親水公園にて毎日17:00から『市堀川夜市』が開催されています。1日のオープニングイベントでは、市堀川のかわまちづくりの近況についてのPRトークや地域の方との意見交換が行われ、屋台やキッチンカーも集まり大盛況でした。



市堀川夜市

2024年10月1日より、和歌山市の京橋親水公園にて、様々な屋台が集まる夜市を毎日開催します。まちのにぎわいや人々の交流の場として、日常に溶け込んだ“屋台がある水辺の風景”をつくっていきます。

ぜひ、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

実施期間 2024年10月1日(火)~2025年3月31日(月)

営業時間 17:00~22:00

場所 京橋親水公園(和歌山市福町38)

instagram



LINEUP

Doi+ (イカ焼き、牛すじ、まぼろしのプリン他)	Bar-Goodvibes (ドリンク他)
Tablocal (熱燗、おでん他)	+39 CAFE&BAR (タバス)
CUPS (カップケーキ、コーヒー他)	DeeDee (タイ料理)
VASAVA (唐揚げ)	はざま屋の唐揚専門店 (唐揚げ他)
Nagomi. (焼きそば、焼き鳥他)	PizzaMinority (ナポリピッツァ他)
ZiZi kara (タージャーバイ、唐揚げ他)	BLACKBOX (ピンパ、オムライス他)
P-NUTS.rise.JUICY FRUITS (おばんざい、日本酒他)	やきとり竜鳳 (焼き鳥)
...and more	

*各出店者の出店日は、ホームページやInstagramでご確認ください。



⇒市堀川夜市のオープニングイベント



⇒市堀川夜市の屋台の様子

○ おわりに

現在、市堀川沿いでは、民間事業者によって、水辺を生かした飲食店の建設やリノベーションが複数進められるとともに、社会実験を通じ、民間団体からは、水辺でのイベント開催を継続したいとの声上がるなど、水辺利用に対する期待はますます高まっています。

和歌山城の外堀として開削された歴史のある市堀川において、かわまちづくりを進めることにより、水辺に往時の賑わいを取り戻し、和歌山城とともに、これまで以上に市民にも来訪者にも愛される、魅力あふれる“かわ”を目指した取り組みが進められています。

足羽川のにぎわい創出について

福井県 土木部 河川課

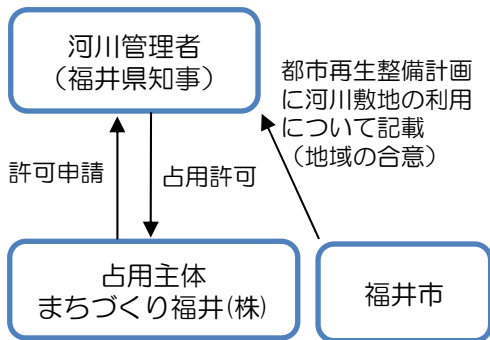
○ はじめに

平成16年7月の福井豪雨では、足羽川の堤防の一部が決壊し、福井市中心部において甚大な被害が生じました。今年には福井豪雨から20年になります。また、今年3月16日に北陸新幹線福井・敦賀が開業し、“ふくい新時代の幕開け”にふさわしいにぎわいづくりを進めています。ここでは、福井豪雨からの復旧、官民協働での利活用事業の推進、河川空間のオープン化の実施を経て、福井市の中心部で人々の憩いの場として生まれ変わりつつある足羽川での取組を紹介します。

○ 事業の概要

令和2年6月より、まちづくり福井株式会社が足羽川の一部区間において河川空間のオープン化を活用した占有を開始しました。また、令和4年度から、福井商工会議所・福井県・福井市で策定した「県都グランドデザイン」に基づき、にぎわい創出に向け「多様な楽しみ方ができる通年型の親水アクティブパーク」を目指した足羽川周辺の整備を進めています。

河川空間のオープン化



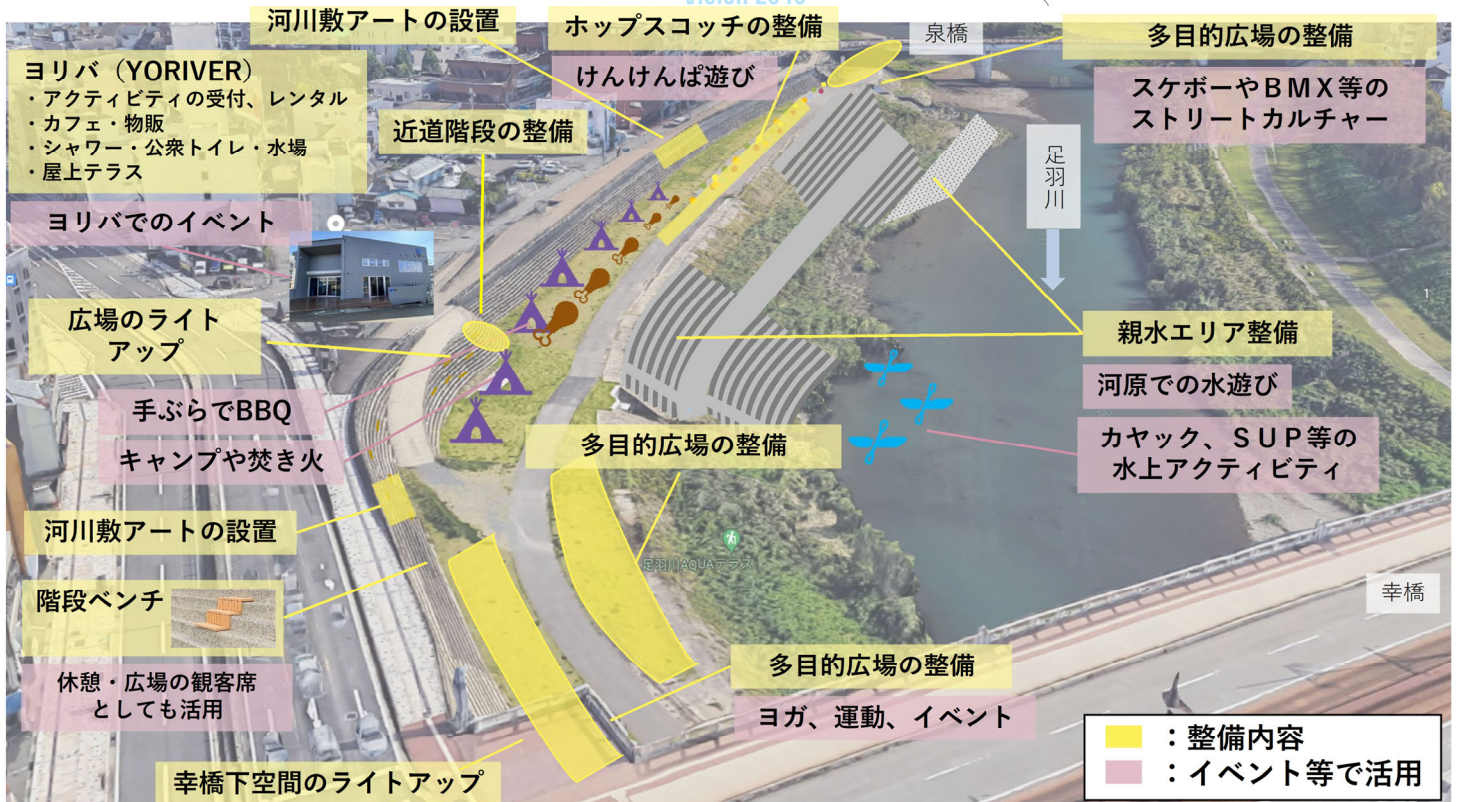
県都グランドデザイン

舞台は、整う。

福井のまちなかは今、100年に一度のチャンスを目に、大きく変わっている。
いくつもの新しい場所ができ、景観が大きく変わる。人の往来も大きく変わる。
この舞台の主角、それはわたし。
さあ、これからどうする？

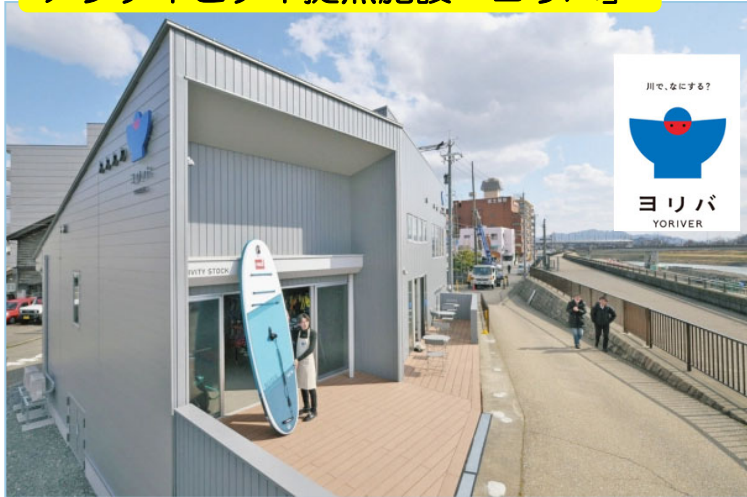


FUJUI GRAND DESIGN
VISION 2040



○足羽川周辺のにぎわい創出

アクティビティ拠点施設「ヨリバ」



水上アクティビティやアウトドアイベントを定期的開催

親水エリア整備



水上アクティビティのために階段護岸などを整備

河川敷アート



福井市出身の現代美術アーティストによる河川敷アートの設置

ライトアップ

完成イメージ



河川敷広場、遊歩道、5つの橋などをライトアップを整備中

にぎわい創出イベント

まちなかの川で遊ぶ文化の定着のために、ふくいまちキャンやふくい祇園まつりなど、様々なにぎわい創出イベントを年間通じて実施

冬の足羽川で遊んでみよう



ASUWAGAWACUP



○ おわりに

福井の玄関口である福井駅周辺は、今回ご紹介した足羽川周辺を含め「福井・まちなか」としてにぎわい創出が進められています。足羽川でも、ご紹介したイベント以外にも毎年様々なイベントが開催されています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

いくたがわすいけい

いくたがわ

生田川水系生田川の歴史と水辺空間の整備について

神戸市 建設局 河川課

○ 生田川について

生田川は、六甲山系の^{まやさん}摩耶山を源とし、神戸市の水源である^{ぬのびき}布引貯水池を経て南流し、JR新神戸駅を^ま通って神戸市街地を貫流し大阪湾の神戸港に注ぐ都市河川です。

上流では布引貯水池や川沿いのハイキングコースが利用され、中流・下流では春に花見、夏には水遊びなどでにぎわいます。また、川岸でジョギングや散歩をする人も多く、街に潤いをもたらす憩いの場として親しまれています。



○ 生田川の歴史

JR新神戸駅からまっすぐ南に流れる生田川は、その昔、現在のフラワーロードを流れていました。川幅は約100m近くあったため、川を渡るのが大変で交通の障害となっていました。また、普段は流れる水が少ないのに大雨が降るとすぐに溢れる厄介な川でした。

明治4年（1871年）、河口にあった外国人居留地の度重なる水害や流出土砂による船舶への悪影響のため現在の位置に付替えられました。

その後、一度は暗渠化されて河道の上を遊歩道と公園に利用していましたが、昭和13年（1938年）の阪神大水害では地下への入口が上流からの土砂や流木などに塞がれ、溢れた水が下流一帯に大きな被害をもたらしました。その後、再度改修されて現在のような開渠となりました。

流域面積は11.1km²、河川延長は1.8kmです。

○ 生田川公園

生田川沿いには南北約1.6kmにわたる公園があります。所々に河川へ降りる階段や色々な遊具があり、河口部ではカルガモなどの野鳥を観察することもできます。



生田川公園には「百龍嬉水」と「連翼亭」という、平成5年（1993年）に『神戸市と天津市の友好都市20周年記念事業』として天津市から贈呈していただいたモニュメントがあります。

「連翼亭」は「百龍嬉水」と対岸にあり、「百龍嬉水」と一体的な景観をつくり出しています。

ひゃくりゅうきすい・れんよくてい

○ 百龍嬉水・連翼亭

「百龍嬉水」は、社会の繁栄と幸福をもたらし、世界が平和で栄えるようにという願いが込められ、「連翼亭」は神戸市と天津市が手を取り合って進めてきた友好を、今後もますます深めていきたいとの気持ちが込められています。

神戸市の「百龍嬉水」は全長60m、高さ3.14m、竜の数が45頭で、天津市海河のものとは比べると少しコンパクトですが、石版の足元から出ている噴水は六甲山系の湧き水を使っており、ライトアップされた夜は昼とは違った雰囲気味わえます。

また、「連翼亭」は高さ7.8m、屋根の1辺が5.6mで8本の柱で支えられており、二つのあずまやが連結された中国清時代の宮殿造営方式の建物で、両市が兄弟のように手を携え、友好をさらに深めるとともに、ますます飛躍するようにとの願いが込められ、それぞれの柱は、「中」「日」「友」「好」「万」「古」「流」「芳」と名付けられています。

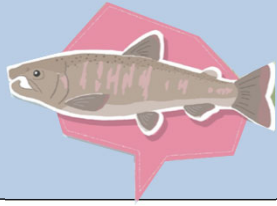
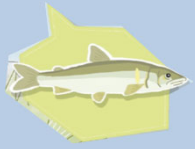


○ おわりに

今回、ご紹介した生田川公園には、ソメイヨシノ満開の桜は圧巻です。

神戸の玄関口の一つであるJR新神戸駅から近を中心にして約150本の桜が植栽されています。「ぬのびき花街道」と呼ばれ、川の両岸に咲き誇るく、抜群のお花見スポットとなっておりますので神戸を訪れる際に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

家棟川（やのむねがわ）で はじめての魚とり体験



トピックス
Topics

滋賀県 土木交通部 流域政策局 河川港湾室

○ 家棟川における魚とり・バーブエづくり体験について

令和6年10月に開催された「滋賀けんせつみらいフェスタ2024」の出展ブースの一つとして会場内を流れる家棟川において、主に子供たちを対象に「魚とり・バーブエづくり体験」を行いました。

滋賀県では、今年度から子どもたちに川の環境や仕組みを知ってもらうことを目的に、子どもたちが水辺で活動する「みずべのこ」を推進しています。



○ バーブエづくり体験について
滋賀県立大学、瀧研究室が中心となって製作した「はじめての魚の居場所づくり」の冊子をテキストにし、瀧教授の解説により、親子で川の仕組みを学んでもらうことができました。

みずべのこ



バーブエ

石積みで造る方法

- ① 根元と先端部は 負荷がかりやすいので 基点となる大きな石を置く！
 - ② 手で運べる程度の 石を積んでいく
 - ③ 小さな砂利を乗せる 石の間に入ると バーブエが強化される
- 木も使える！
- 川の中の石は 自由に動かせる

河道の多様性

河道構造の複雑性を表す 複雑な河道をもつ流域は多様な魚種が生息



○ 魚とり体験について

100名近くの参加者があり、子供たちは目をキラキラ☆と輝かせて、網を振り回し、魚や水生昆虫などの採取に本当に楽しそうに夢中になっていました。



○ おわりに

今回の体験は、冊子に描いていた理想的な川遊びの実現につながりました。

魚とり体験を通じて、普段できない生き物とのふれあいや子供の心を揺さぶる経験を提供し、川の魅力を最大限に伝えることができました。

担い手不足が課題となっている土木業界としても、次世代の人材育成につながる大事な取組となりました。

きんきのダム巡り～安威川ダム～

あいがわ

大阪府 都市整備部 河川整備課



下流市街地

安威川ダム

安威川ダムと
下流市街地の夜景



安威川ダムは、大阪府北摂地域を流れる一級河川安威川上流部の茨木市北部に建設された治水ダムです。昭和42年7月の北摂豪雨災害を契機に、安威川の抜本的な治水対策として、ダム建設と河川改修を組み合わせた計画が策定され、半世紀以上の時を経て、令和6年3月ようやく事業が完了しました。

ダムの形式はロックフィルダムで、高さ76.5m、総貯水容量1,800万m³で、洪水調節、流水の正常な機能の維持及び下流河川の環境改善のための流量を確保します。

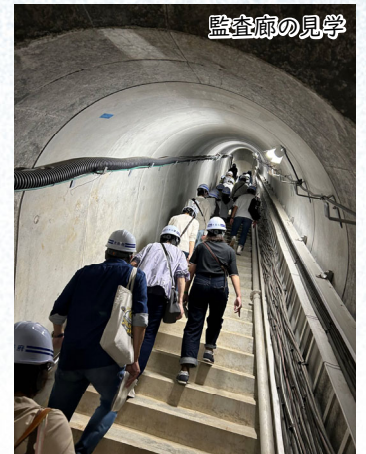
安威川ダムは、全国でも珍しく都市近郊に位置するダムであり、ダム天端からは下流域の市街地を眺めることができます。また、堤体表面のリップラップは、陰影を持った重厚感ある特徴的な仕上げとなっており、周辺の恵まれた自然風景と調和した美しい景観を創出しています。

現在、ダム周辺整備事業として、地元茨木市が民間事業者と連携し、都市公園「ダムパークいばきた」の整備を進めており、令和6年4月に一部エリアがオープンしています。ダムパークいばきたの目玉は、ダム湖の左右岸を繋ぐ日本最長の歩行者専用吊り橋で、橋の上から湖面へのバンジージャンプなど、様々なアトラクションも計画されており、令和7年春にオープン予定です。

今後、安威川ダムが大阪北部の賑わい創出につながる事が期待されます。

●ダムパークいばきたフェスティバルが開催されました

ダムパークいばきたを拠点として活動している「ダムパークいばきたコミュニティ」が中心となって企画・運営された「ダムパークいばきたフェスティバル」が令和6年10月26日(土)に開催されました。イベントでは、茨木市の資源を活かしたプログラムや、地元特産野菜の販売や料理が堪能できるマルシェが開催されました。また、プログラムの一つとして、「安威川ダムツアー」も実施し、普段は入ることができない監査廊の見学などは参加者から大好評でした。



安威川ダムに関する最新情報は公式SNSでチェック!⇒



「さらさ編集担当者現場勉強会」を開催！！

令和6年12月11日（水）に、大阪市内においてさらさの編集担当者の他、近畿管内の府県・政令市の若手技術者の技術力向上を目的に、「さらさ編集担当者現場勉強会」を開催しました。
【近畿地方整備局 河川部 地域河川課】

- 開催日：令和6年12月11日（水）
- 視察場所：①寝屋川北部地下河川城北立坑築造工事
②淀川大堰閘門事業
③阪神なんば線淀川橋梁改築事業
- 参加機関：三重県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県、近畿地方整備局 計：21名



【参加者からの感想】

- ・普段見れない大規模な現場を見ることができ非常に参考になりました。
- ・現場確認時の注意点を聞き、今後他の現場を見る際にも意識しようと感じました。

■編集後記

「さらさ」2024冬号(128号)の編集を務めさせていただきました大阪市です！無事に発刊することが出来ましたのは、ご多忙のなか記事投稿をしていただきました各府県市の皆様のおかげです。

今回、編集担当として大阪市の河川について調べてみたり、他の府県さんの川についての記事を読んだりするなかで、各川の違いや共通点などを改めて認識することができました！今回さらさを読んでくださっている皆さん、是非これからも引き続き読んでいただき河川について知っていただくね！

編集担当：大阪市 建設局 道路河川部 河川課

編集・発刊：三重県 福井県 滋賀県 京都府 京都市 大阪府 大阪市 堺市 兵庫県 神戸市 奈良県 和歌山県 国土交通省近畿地方整備局